

2025 年度 NEDO 事業に関する制度改善アンケート (集計結果)

集計期間 2025 年 6 月 ～ 2026 年 4 月 計 311 件

- ・ 設問 13 を除き、回答を必須としていないため、各設問によって回答件数は異なります。
- ・ () 内の％は、小数点第一位を四捨五入しているため合計が 100%にならない場合があります。

【経費計上・検査について】	
1	経費計上の際、判断に迷うところがありましたか。
	☐ あった(45%) ☐ なかった(55%)
	あった場合、具体的にどのようなことでしたか。 【自由回答で頂いたご意見(一部)】 ・ レンタルやライセンスなど、数か月にわたって利用する場合の費用について、一括計上と月ごとの計上のどちらにすべきか迷った。 ・ ソフトウェア制作を外注した際、どの費用にすべきか迷った。 ・ 外注費に該当するかどうかの判断が難しかった。 ・ NEDO 事業以外の業務と混在する場合の旅費の計上方法に迷った。 → 計上可否の判断や適切な費目選択を支援できるよう、引き続き事務処理マニュアル等の内容の改善に努めます。
2	検査の結果、検査員の指摘により、計上した経費等を修正したことがありましたか。
	☐ あった(49%) ☐ なかった(51%)
	あった場合、具体的にどのような経費をどのように修正しましたか。 【自由回答で頂いたご意見(一部)】 ・ 計上日について、検収日と支払日を混同していた。 ・ データ等の取得を外注した際の経費の「旅費交通費」に関して、当初は「旅費」に計上していたが、指摘を受けて「外注費」に変更した。 ・ 健康保険等級を年度途中で変更しており、労務費を修正した。 ・ 諸経費(借料)について未経過月分は計上できないとの指摘を受け、中間検査の対象から除外した。 → 設問 1 と同様に、経費計上ルールや費目区分に関する理解を支援するため、事務処理マニュアル等の改善に継続して取り組みます。
3	その際、検査員より修正する理由等の十分な説明がありましたか。
	2 で「あった」と回答したうち、 ☐あった(95%) ☐なかった(5%)

4	検査員の対応・態度をどう感じましたか。
	☐ 良かった(69%) ☐ 普通(27%) ☐ 悪かった(3%)
	悪かった場合、状況を詳細に教えてください。 【自由回答で頂いたご意見(一部)】 ・当方としては真摯に対応していたが、常に疑いの目で見られているように感じた。 ・マニュアルに基づく説明ではなく、担当者個人の判断によるものと思われる説明を受けた。 ・検査員の対応が高圧的に感じられた。 なお、「修正内容や考え方について丁寧な説明があり、分かりやすかった」、「事業者の実態に配慮した対応をいただいていると感じた」といったご意見も頂いています。 → 全体としては概ね好意的な評価を頂いています。一方で、検査員の説明内容や対応の姿勢に関して、一部厳しいご意見も寄せられました。内容を真摯に受け止め、今後の検査の運用に役立ててまいります。
5	検査員の指摘等について以前と違う指摘やマニュアルに記載されていない書類の提出・提示を求められたことがありましたか。
	☐ あった(14%) ☐ なかった(86%)
	あった場合、具体的にどのようなことでしたか。 【自由回答で頂いたご意見(一部)】 ・検査のたびに検査員が変更となり、その都度同様の説明を求められるため、引き継ぎをしっかり行ってほしい。 ・検査員によって求められるエビデンスの内容が異なり、対応に苦慮することがある。 ・消耗品の計上方法などについて、プロジェクトによって検査員の説明が異なる。 → 頂いたご意見を検査員へ共有のうえ、検査の品質の向上と対応の均質化に努めます。また、個々の事情によっては、追加資料の提出や対応をお願いする場合がございますが、その際には必要性や根拠について丁寧に説明し、事業者の皆様にご理解・ご納得いただいたうえでご対応いただけるよう努めます。

6	一定の条件を満たした大学・国立研究開発法人等の検査については、原則として書面検査とするとともに提出を求める資料を限定しています。どのように思われますか。 ☐ 良い (36%) ☐ 改善してほしい(7%) ☐ どちらでもない(特に意見はない)(57%) 【自由回答で頂いたご意見(一部)】 ・書面検査となったことで、検査対応の効率化につながったと感じる。 ・適切に予算執行管理を行っており、書面審査でも問題ない考える。 ・大学・国立研究開発法人等を対象とした取扱いを踏まえ、企業に対する検査手続についても簡素化を検討してほしい。 ・再委託先の費用執行に関する責任は再委託元にあるが、提出資料が限定された状態での検査では、再委託先の費用計上内容に十分な責任を持ってない。 ・再委託先に書類に不備や記載誤りがある場合、書面検査では確認や調整に時間を要し、かえって負担が増える場合がある。 → 受検者の負担軽減や検査の効率化に資する取組として評価する意見が見られました。一方で、特に大学・国立研究開発法人等へ再委託を行っている事業者からは、提出資料を限定した検査に対し、不安や懸念を示す意見も寄せられました。NEDO では、検査の品質の確保と受検者の負担軽減の両立を目指し、本制度を運用しています。原則として大学・国立研究開発法人等に対しては書面検査を実施することとしています。確認が必要な事項がある場合には追加説明・資料の提出をお願いするほか、必要に応じて実地検査を実施できることとしています。引き続き、本制度の適正な運用にご理解とご協力をお願いいたします。 なお、書面検査対象範囲の拡大については将来的な課題として認識しています。
7	経費計上・検査について、今後改善すべきと思われる点がありますか。具体的なお意見をお願いします。 【自由回答で頂いたご意見(一部)】 ・「必要な事項とそのための証憑」は理に適っていると思うが、そこに至るまでの理解に苦労するため、より手厚い支援を期待したい。 ・マニュアルにおいて、より具体的な例(証憑など)を充実させるとともに、検査員への周知・指導を通じて検査内容の標準化を図ってほしい。 ・各提出書式について、記載要領や記載例をより充実させてほしい。 ・紙媒体での提出に代えて、可能な限り電子データでの提出を認めてほしい。 → 経費計上や検査に関しては、各種マニュアルの分かりやすさや検査の標準化など、様々な観点から多くのご意見を頂きました。頂いたご意見を踏まえ、各種マニュアルの改善や検査内容の標準化等に引き続き取り組み、事業者の皆様にとってより分かりやすい制度運用に努めます。 また、昨年度に引き続き、電子データを活用した検査に関するご意見も寄せられました。事業者内のルールで電子保存された帳票類が原本として位置づけられていれば、電子データによる検査も可能です。事業者内のシステムやデータの閲覧権限、資料の視認性等も踏まえて必要に応じて紙によるコピーを使用するなど、効率的かつ適切な方法となるよう NEDO 担当者でご相談ください。

【ヘルプデスク、各種マニュアル、契約約款・交付規程について】	
8	事務処理手続きに係るヘルプデスクをご存知ですか。
	☐ 知っている(67%) ☐ 知らない(33%)
	ヘルプデスクについて、具体的にご意見があればご記入ください。
	【自由回答で頂いたご意見(一部)】 ・NEDO 担当者とヘルプデスクのどちらに問い合わせるべきか、判断の目安があると分かりやすい。 ・ヘルプデスクの存在を認識していなかったため、今後は活用したい。 → ヘルプデスクを含む各種問合せ先につきましては、以下の「委託・補助・助成事業の手続：お問い合わせ」ページをご参照ください。同ページでは、特定の事業にかかるご相談や一般的な事務処理・手続、PMS の操作方法の問合せなど、内容に応じた窓口をご案内しています。 【委託・補助・助成事業の手続：お問い合わせ】 https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/help.html
9	2025 年度版事務処理マニュアル3 種について、従前の構成や内容を大きく見直し、「常用版」及び「詳細版」を発刊しました。どのように思われますか。
	☐ 良い (43%) ☐ 改善してほしい(15%) ☐ どちらでもない(特に意見はない)(42%)
	【自由回答で頂いたご意見(一部)】 ・事業者から寄せられた質問や問合せ内容を、次年度版のマニュアル等へ反映してほしい。 ・常用版から詳細版へ容易に参照できるようにし、必要な情報をより効率的に確認できるようにしてほしい。 ・マニュアルの分量が多いため、AI ツール等を活用して必要な手続や対応を対話形式で確認できるようになると助かる。 → 各種マニュアルに関して、多くの具体的な改善提案を頂きました。事業者の皆様の利便性の向上につながるようマニュアル等の改善に努めます。AI の活用に当たっては回答の品質の確保が重要と考えており、今後の活用可能性について継続的に検討を進めます。
10	契約約款・交付規程について、今後改善すべきと思われる点がありますか。具体的なお意見をお願いします。
	【自由回答で頂いたご意見(一部)】 ・よくある質問を整理した Q&A 集や、検索しやすい仕組みを充実させてほしい。 ・契約手続や交付決定通知などをより迅速に進めてほしい。 → 契約約款・交付規程については、多くの回答者から「特に改善すべき点はない」とのご意見を頂きました。一方で、Q&A 等を活用した情報提供の充実や契約手続の効率化等に関するご意見も寄せられました。頂いたご意見を参考に情報提供や運用面の改善について検討してまいります。

【2025 年度の変更点について】	
11	委託業務における大学・国立研究開発法人等以外の事業者及び補助事業者において、健康保険等級を有していない補助員の日額上限（14,000 円（交通費込み））を撤廃しました。どのように思われますか。 ☐ 良い(34%) ☐ 改善してほしい(1%) ☐ どちらでもない（特に意見はない）(65%) 【自由回答で頂いたご意見(一部)】 ・昨今の経済情勢を踏まえた見直しであると感じる。 ・補助員を 1 年間雇用することを考えると、従前の日額上限は実態に合わないため、撤廃は望ましい。 ・雇用に柔軟性が生まれるため、とても良いと思う。 → 昨今の経済情勢や事業者の実情を踏まえた制度見直しとして評価する意見が寄せられました。また、事業者の状況に応じた柔軟な運用が可能になるとの観点から、肯定的なご意見を頂きました。
12	委託業務において、委託業務の成果を PCT 出願した際、プロジェクト期間中の各指定国への国内移行の費用も特許出願に係る費用に計上できるようにしました。どのように思われますか。 ☐ 良い(46%) ☐ 改善してほしい(0%) ☐ どちらでもない（特に意見はない）(54%) 【自由回答で頂いたご意見(一部)】 ・産業財産権確保、維持の観点から有効な支援になると思う。 ・非常に有意義な制度改善であると思う。 → プロジェクト成果に関する知的財産権の確保・維持を支援する制度見直しとして、肯定的なご意見を頂きました。

【契約・検査全体について】	
13	NEDO の契約・検査制度等について、全般的にどのように思われますか。
	☐ 満足(18%) ☐ 概ね満足(37%) ☐ 特に不満なし(31%) ☐ 不満(8%) ☐ 分からない(5%)
	【自由回答で頂いたご意見(一部)】 ・適正な検査制度であると考えているが、証憑書類の取得に工数を要するため、一部簡略化されるとより望ましい。 ・制度にかかるマニュアル等が充実しており、ありがたいと感じている。 ・検査準備を支援していただける仕組み（生成 AI 等により、疑問点を対話形式で確認できる仕組み）があると助かる。 ・検査については、毎回何らかのばらつきが発生することから、統一した視点で運用してほしい。 → NEDO の契約・検査制度については、全体として概ね肯定的なご意見を頂きました。一方で、検査のさらなる効率化や均質化、生成 AI 等を活用した支援の充実を期待するご意見も寄せられました。頂いたご意見を踏まえ、今後とも制度面の改善やマニュアルの継続的な見直し等を通じて、契約・検査業務の効率化及び事業者の皆様の業務負担軽減に努めます。

【プロジェクトマネージャー／プロジェクト担当について】	
14	NEDO のプロジェクトマネージャー／プロジェクト担当者との打ち合わせ頻度はどの程度ですか。 ☐ 週 1 回以上 (5%) ☐ 月 1 回以上 (39%) ☐ 3 ヶ月に 1 回以上 (34%) ☐ 半年に 1 回以上 (12%) ☐ 1 年に 1 回以上 (2%) ☐ ほとんどなし (8%)
15	NEDO のプロジェクトマネージャー／プロジェクト担当者に対する満足度はどれくらいですか。 ☐ 満足 (48%) ☐ 概ね満足 (27%) ☐ 特に不満なし (16%) ☐ 不満 (4%) ☐ 分からない (5%) その満足度を選んだ具体的な理由を教えてください。 【自由回答で頂いたご意見(一部)】 ・スケジュールやタスクの確認、アドバイス等により、事業を円滑に進めることができた。 ・親身に相談に応じていただいております、質問にも的確に回答してもらっている。 ・質問への回答は、親切かつ丁寧であると感じている。一方で、NEDO からの確認事項や質問が多いと感じることもあるため、相手の時間や都合にも配慮したやり取りを期待したい。 ・担当者によってマニュアルの理解度や対応に差があるため、より統一的な対応を期待する。 → 全体としては概ね好意的な評価をいただいている一方で、やり取りの進め方や担当者による対応の差異に関するご意見も寄せられました。頂いたご意見を踏まえ、ガイドラインや研修等を通じて、NEDO 担当者の能力向上と対応の均質化に継続して取り組みます。
16	その他、NEDO のプロジェクトマネージャー／プロジェクト担当者に対するご意見があればご記入ください。 【自由回答で頂いたご意見(一部)】 ・各種手続や事業の円滑な実施に向けた支援を十分に行ってもらっている。 ・不明点や質問に対し、迅速かつ的確に回答してもらっている。 ・メールでの指示については、より具体的な内容を示してほしい。 ・担当者によっては、説明や表現がやや強く感じられる場面がある。 → 全体としては概ね好意的なご意見をいただいている一方で、説明内容や対応方法に関するご意見も寄せられました。設問 15 と同様に、ガイドラインや研修等を通じて、NEDO 担当者の能力向上と対応の均質化に継続して取り組みます。

【その他】	
17	NEDO 事業の制度面や実務面について、今後改善すべきと思われる点がありますか。具体的なお意見ををお願いします。 【自由回答で頂いたご意見(一部)】 ・事務手続の簡素化や関係者間の情報共有の促進をお願いしたい。 ・AI 等を活用して質問の回答が得られるようになれば、事務手続の確認作業が軽減されると思う。 ・検査員によって説明内容が異ならないようにしてほしい。 ・マニュアルや手続の分かりやすさの向上、さらなる簡素化をお願いしたい。 ・詳細版のマニュアルは情報が充実している一方で、必要な情報を探しにくい。 ・PMS において、提出済みデータの履歴や今後対応すべきタスク等がタイムリーに確認でき、かつ、帳票などの一元管理ができると、より効率的なプロジェクトマネジメントが可能になると思う。 ・PMS の入力システムが分かりにくいため、改善してほしい。 → 事務手続の簡素化や負担軽減、担当者間での運用の均一化、マニュアルの分かりやすさの向上、PMS の利便性改善を求める意見など、多岐にわたるご意見を頂きました。頂いたご意見を参考に、業務効率化や利便性向上につながるよう、制度運用、各種マニュアル及びシステムの改善に取り組みます。

ご協力ありがとうございました。